

第29回技術研修会を開催

環境、防災、維持管理テーマに講演

ミラクルソル協会

ミラクルソル協会(原裕理事長)が主催する第29回技術研修会が24日、唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」であった。官公庁、建設コンサルタント会社、建設会社などから98人の技術者が参加し、環境や斜面防災、維持管理技術について知識を深めた。

技術研修会はミラクルソル協会の主催で、▽佐賀県ジオファイバー協会▽佐賀県ニューレスポ協会▽SSLアンカー協会▽景観壁体研究会の4団体が共催。2部構成となつて



講演するサンスイ・ナビコ㈱の和田亮氏



ミラクルソル協会の第29回技術研修会

おり、「環境と防災と維持管理技術」をテーマに様々な研修が行われた。

第1部では原理事長が「地球温暖化と災害とグリーンインフラ」の演題で講義。その中で「世界各地で異常気象に見舞われ、地球温暖化によって災害が急増している」と説明し、地球温暖化対策の必要性を強調。講義ではガラス廃材をつくったミラクルソルを使ったF W G透水性舗装工法などについて解説した。

続いて、日特建設

九州支店の山下一臣技術部長が「洪水よりの崩壊した河川沿いの道路を親杭パネル壁で早期復旧」と題し講演した。

第2部では、サンスイ・ナビコ㈱営業開発部の和田亮氏、同社九州営業所の堀江靖所長代理が「グラウンドアンカー健全度調査例およびSSL・Fixerグラウンドアンカー工法の紹介」の演題で講演し、Fixerグラウンドアンカー工法の特徴を説明した。

また、岡三リビック㈱リバイブ創新部の細谷祐之部長が「脱炭素社会、SDGsに貢献する管更生工法J-T EX工法、SWライナー工法」の演題で研修した。

会場では、パネルディスカッションや質疑応答なども行われた。